

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] アミオダロン塩酸塩静注静脈内投与による静脈炎発症の危険因子解析

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 大井優（薬剤部 薬剤師）

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間:実施承認後～2019年10月31日

目的: 当院の急性期病棟におけるアミオダロン注による静脈炎発症の危険因子について、統計学的に解析し、適切な治療を継続するための方法を考えることを目的とする。

方法: 2017年10月から2018年12月にアミオダロン注を投与された方を対象に静脈炎発症群と非発症群の2群に分け、カルテ情報から取得した調査項目について Mann-Whitney 検定と X^2 検定で統計解析を行う。

■ 対象となる患者さん

2017年10月～2018年12月に当院の急性期病棟でアミオダロン注を投与された方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料: なし

情報: 年齢、身長、体重、静脈炎の発症（疼痛、発赤、腫脹）の有無、静脈炎発症までの期間、アミオダロン注の投与期間、身体拘束の有無、血液検査結果（肝機能）、既往歴（DM、高血圧、高脂血症、せん妄）の有無、嗜好品の有無等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

大井優・薬剤部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971